

教科	国語	単元名	物語「空中ブランコ乗りのキキ」
----	----	-----	-----------------

本時で育む主な情報活用能力

C-STEP4, D-STEP4

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



本時のねらい

・物語における描写が意味するものとその効果について考える。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・生徒の意見を一齐に可視化できるクラウドふせんツールである「ふきだしくん」を使用し、他者の考えを参照して、自分の考えをまとめる。
・「ふきだしくん」で色を変えて記入することで、視覚的に思考を整理しやすくする。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・ふきだしくん（クラウドふせんツール） ・Teams

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の内容を Teams で板書の写真を見ながら確認する。【写真1】 ○本時のねらいを確認する。 「『白い大きな鳥』は何を意味するのだろう」 ○班活動で教科書を読む。 「白い大きな鳥」を連想する言葉に線を引きながら音読する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の板書の写真を確認し、既習事項を整理する。
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ○「白い大きな鳥」はキキか、キキではないかを考える。 キキだと思う意見は赤のふきだし、キキだと思わない意見は青のふきだして記入。→町の人たちの噂を共感する。(個人思考・全体共有) ○「白い大きな鳥」はキキの何を意味しているかを考える。 新しいボードに自分の考えを白いふきだして書く。その後、黄色のふきだして「目に見えないもの」でも書き足す。(個人思考・全体共有) 【写真2】 ※目に見えないものを目に見えるもの(白い大きな鳥)で表現することを「象徴」ということを説明する。 ○自分の意見がプラスの表現(赤色)、マイナスの表現(青色)、どっちともとれる(緑色)に色分けし、分類する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふきだしくん」のリンクを Teams で配信する。(または、電子黒板に QR コードを映し、読み取らせる。) 最初「ふきだしくん」には、誤動作防止、他の意見に影響を受けずに自分の意見を持つことにより集中させる為に、自分の意見しか見えないように設定しておく。また、授業者のみ生徒のふきだしを動かせるように設定しておき、生徒の意見を左右にわけておき、違いに気づかせる。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○友達の考え方でよかったものを選び、それらも参照しながら、めあてに対する自分の考え(「白い大きな鳥」はキキの何を表しているのか)をワークシートに書く。【写真3】 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふきだしくん」のボードと板書を写真で撮り、Teams で配信することで、自宅でも振り返りながらプリントに書くことができる。

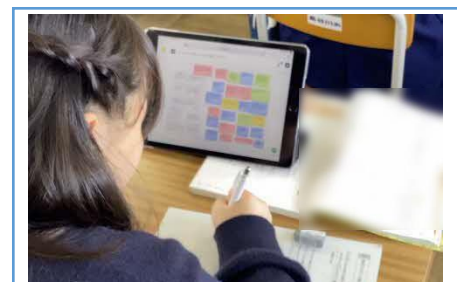
1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】Teamsで前時の板書等を配信



【写真2】「白い大きな鳥」はキキの何を意味しているかを、色を分けてふきだしくんに記入



【写真3】他者参照しながら「白い大きな鳥」はキキの何を表しているのか自分の考えを記入

児童生徒の反応や変容

自分の意見を記入したあと、みんなの意見も見たいという欲求が全体的に出ていた。記入できていなくても、他者参照後に記入することができるため、授業後や自宅で振り返りながら記入することもできる。同じ意見や違う意見を端末で確認できるので、自分の考えに自信を持てる生徒が増えた。自宅でも入力できることで、欠席者や別室で授業を受けている生徒も参加できた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

「ふきだしくん」はクラウド上でスムーズに動作できた。また、指定した色分けで視覚支援にもなり、瞬時に他者の意見が見えるため、自分の学びにつなげやすいという利点があった。ボード作成の際に、使い方の丁寧な説明が出てくるため、初めて使う場合でも確認しながら作成することができた。ただし、データを残すことが出来ないため、前時の意見を振り返りたい場合はスクリーンショットを撮っておく必要がある。